

# 地理A

| 使用教科書                                | 単位数 | 学年・学級・学科・選択名等 |
|--------------------------------------|-----|---------------|
| 高等学校新地理A初訂版（帝国書院）<br>地歴高等地図最新版（帝国書院） | 2   | 2年1、2組        |

## 1 学習の到達目標

|                |   |
|----------------|---|
| <b>学習の到達目標</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代世界についての地理的な認識を一層深め、これからの世界に生きる人間としての必要な見方や考え方を身につける。</li> <li>・地域の特徴を総合的に把握する方法を考えるとともに、日本の全体的な特色を理解し、国際社会における日本の立場と役割について考える。</li> </ul> |
|----------------|---|

## 2 学習計画

| 学期 | 月   | 単元の学習内容  | 時数  | 単元のねらい   | 評価の観点   |  |   |   | 評価方法  |
|----|---|--|---|--|---|--|---|---|---|
|    |   |  |   |  | ①   | ②  | ③ | ④ |   |
| 前期 | 4   | オリエンテーション<br>1部 私たちの地球をみつめる<br>1章 球面上の世界と地域構成<br>①私たちの星、地球<br>②地球表面のとらえ方と球面上の位置<br>③球面と平面の世界<br>④世界地図の種類と特徴<br>⑤時差の求め方<br>⑥国家と地域区分 | 9   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球表面の大陸と海洋の分布を理解する。</li> <li>・緯度・経度の概念と、球面上での位置関係を正しく理解する。</li> <li>・地球儀と地図の違いを理解し、地球表面の大陸と海洋の形状や各国の位置関係・方位を正しく理解する。</li> <li>・様々な世界地図の特徴と用途について理解する。</li> <li>・時差の計算方法と、世界の時刻のしくみを正しく理解する。</li> <li>・国家の領域を正しくとらえるとともに、地域区分の概念を理解する。</li> </ul> | ○   | ○  | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・授業導入時プリント</li> <li>・授業プリント</li> <li>・授業内容確認プリント</li> </ul> |
|    |   | 5  |   | 2章 結びつく現代世界<br>①結びつきを強める現代世界<br>②世界を結ぶ交通<br>③世界を一つに結ぶ通信<br>④国際化する人々の移動<br>⑤拡大する世界の貿易   | 7   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家間の結合の変化や現代世界の経済機構をとらえるとともに、国連の役割を理解する。</li> <li>・世界の交通網や通信網に関する資料の収集・分析などを通して、世界諸地域間の結びつきの現状と地域差を考える。</li> <li>・人の国境を越えた移動に関する資料の収集・分析などを通して、世界諸地域間の結びつきの現状と地域差を考える。</li> <li>・貿易に関する資料の収集・分析などを通して、世界諸地域間の結びつきの現状と地域差を考える。</li> </ul> | ○ | ○ |   |
|    | 6   |  | 前期中間考査  |  |   | ○  | ○ | ○ | ○   |
|    |   | 7  | 3章 多様さを増す人間行動と現代世界<br>①行動圏の拡大と地域差<br>②消費行動の変化と地域差<br>③さまざまな余暇活動                                 | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な情報を地理情報として活用し分析することなどを通して、現代世界の人間の行動圏拡大と地域差を考える。</li> <li>・身近な消費生活、余暇活動やその地理的空間の変化に関心を持ち、世界の消費生活、余暇活動と比較して、地域性を理解する。</li> <li>・世界と日本の余暇・ボランティア活動の地域性について、その背景を地域の地理的環境とからめて考える。</li> </ul> | ○  | ○ | ○ | ○   |
|    | 8   |  | 2部 さまざまな地域の生活と環境<br>1章 人間生活をとり巻く環境<br>①生活に影響を与える環境条件とは<br>②人々の生活と地形<br>③人々の生活と気候<br>④人々の生活と社会環境 |  | 8   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の生活・文化は自然環境と社会環境の影響を受けることを理解する。</li> <li>・世界の諸地域の自然環境を形成する地形を、生活・文化と関連づけて考える。</li> <li>・世界の諸地域の自然環境を形成する気候を、生活・文化と関連づけて考える。</li> <li>・世界の諸地域の社会環境を形成する言語や宗教などを、生活・文化と関連づけて考える。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○   |
|    |   | 9  | 前期期末考査  |  |   | ○  | ○ | ○ | ○   |
|    | 2章 世界の諸地域の生活・文化<br>①中国の生活・文化<br>②東南アジアの生活・文化<br>③インドの生活・文化<br>④中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 |  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の第二次世界大戦後の歩みや自然と農業、経済発展の様子と比較して、現在の変化の激しい社会主義国家中国の生活・文化を学習し、日本との共通点・相違点について理解を深める。</li> <li>・東南アジアという地域に注目し、農業などに大きく影響する自然環境や、現在の民族・宗教分布とその背景を知識として身につけ、伝統と高い経済成長による変化について理解を深める。</li> <li>・インドを中心とした南アジアという地域に注目</li> </ul>                   | ○   | ○  | ○ | ○ |   |

|    |        |   |    |   |   |   |   |   |   |
|----|--------|---|----|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 10     | ⑤サハラ以南のアフリカの生活・文化<br>⑥ヨーロッパの生活・文化<br>⑦アメリカ合衆国の生活・文化<br>⑧ラテンアメリカの生活・文化<br>⑨オーストラリアの生活・文化                             | 12 | し、そこに暮らす人々の民族・宗教分布の背景を学び、特にインドの宗教と密接に関連した生活と変化について、理解を深める。<br>・ヨーロッパの中での東西南北における自然環境や、たどってきた歴史の違い・地域性を学び、一体化の進むヨーロッパ社会の実状を、EUの取り組みなどから理解する。<br>・移民の国アメリカに注目し、アメリカ移民社会と現在の多文化社会の特徴が、産業・大衆文化の形成にどのような影響を与えてきたかを理解するとともに、アグリビジネスやIT産業に代表されるアメリカの先進性について理解を深める。<br>・太平洋圏としてのオセアニアについて、その位置関係、自然環境、民族移動の歴史を学び、多文化社会の結びつきを強めているオセアニアについて理解する。 | ○ | ○ | ○ |   |   |
|    | 11     | 3章 近隣諸国の生活・文化と日本<br>①韓国の生活・文化<br>②ロシアの生活・文化   | 2  | ・韓国について、第二次世界大戦後の朝鮮半島の歩みや自然環境、激変した韓国経済と社会や生活・文化に注目し、日本との共通点・相違点を学び、将来の日韓関係について考える。<br>・ロシアについて、ソ連時代からC I Sにいたるプロセスや解体後のロシアの生活・文化と産業などの変化を学習し、ソ連解体後のロシア人の生活・文化に注目して、日本との共通点・相違点、極東ロシアと環日本海地域の交流について理解する。   | ○ | ○ | ○ | ・授業態度<br>・授業導入時プリント<br>・授業プリント<br>・授業内容確認プリント |   |
|    | 後期中間考査 |   |    |   |   |   |   | ○   | ・定期考査   |
|    | 12     | 3部 地球的に広がる課題<br>1章 地球的課題と私たち<br>①複雑にからみ合う地球的課題<br>②世界の人口問題<br>③世界の食料問題<br>④世界の都市・居住問題<br>⑤世界の資源・エネルギー問題<br>⑥世界の環境問題 | 11 | ・様々な地球的課題の地域的特徴を理解し、解決への取り組みを、地域的視野から考える。<br>・世界の人口問題を、先進国と発展途上国の事例を通して追究し、解決への取り組みを考える。<br>・世界の食料問題を、食料供給のかたよりを通して追究し、解決への取り組みを考える。<br>・世界の都市・居住問題を、先進国と発展途上国の事例を通して追究し、解決への取り組みを考える。<br>・世界の資源・エネルギー問題を、利用と不均衡の問題を通して追究し、解決への取り組みを考える。<br>・世界の環境問題を、先進国と発展途上国の事例を通して追究し、解決への取り組みを考える。   | ○ | ○ | ○ | ○   | ・授業態度<br>・授業導入時プリント<br>・授業プリント<br>・授業内容確認プリント |
|    | 1      | 2章 近隣諸国が取り組む課題と日本の役割<br>①近隣諸国の森林破壊への取り組み<br>②近隣諸国の大気汚染への取り組み  | 2  | ・近隣諸国や日本が取り組んでいる森林破壊問題を地域性を踏まえて追究し、その解決のための国際協力の必要性、および日本の役割について考える。<br>・近隣諸国や日本が取り組んでいる大気汚染問題を地域性を踏まえて追究し、その解決のための国際協力の必要性、および日本の役割について考える。  | ○ | ○ | ○ | ○   | ・授業態度<br>・授業導入時プリント<br>・授業プリント<br>・授業内容確認プリント |
|    | 学年末考査  |   |    |   |   |   |   | ○   | ・定期考査   |
|    | 3      | 次年度に向けて   | 3  | ・次年度に向けた学習  | ○ | ○ | ○ | ○   | ・授業態度<br>・授業導入時プリント<br>・授業プリント<br>・授業内容確認プリント |

### 3 評価等について

| 項目 | ①関心・意欲・態度                        | ②思考・判断                                    | ③資料の活用技能・技能   | ④知識・理解   |
|----|----------------------------------|---|---|--|
| 内容 | 各地域の自然環境の特色に対する関心を高め、意欲的に追求している。 | 生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて、多面的・多角的に考えている。 | 地理に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を活用し、学び方の技能を身につけ、考えた過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 | 世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について歴史的背景と関連づけて考え、地理的認識を深めている。 |
| 割合 | 20%(点)                           | 10%(点)                                    | 10%(点)  | 60%(点)   |

#### 4 履修にあたっての注意事項

- (1) 定期考査
  - (2) 提出物への取り組み状況、完成度
  - (3) 授業の取り組み（授業態度、学習活動への参加状況、服装など）
- などから総合的に評価する。

また、毎時間の授業を大切に、意欲的に取り組むこと。  
これらの事項を守れない場合には、未履修となることがあるので注意すること。

#### 評価について

| 評価 | 評価点      |
|----|----------|
| 10 | 100 ~ 93 |
| 9  | 92 ~ 85  |
| 8  | 84 ~ 77  |
| 7  | 76 ~ 70  |
| 6  | 69 ~ 61  |
| 5  | 60 ~ 53  |
| 4  | 52 ~ 45  |
| 3  | 44 ~ 38  |
| 2  | 37 ~ 30  |
| 1  | 29 ~ 0   |

#### 学年末評定について

| 評価 | 評価点      |
|----|----------|
| 5  | 100 ~ 85 |
| 4  | 84 ~ 70  |
| 3  | 69 ~ 45  |
| 2  | 44 ~ 30  |
| 1  | 29 ~ 0   |